

## 研究計画概要

助成年度・種別	2015年度 一般研究助成
研究代表者	遠藤 洋二
所 属	関西福祉科学大学
研究テーマ	児童養護施設における「性暴力対応プロトコル（多機関連携モデル）」策定に関する研究
研究計画概要	<p>児童養護施設における児童間暴力は、保護者からの虐待等を受けてきた児童にとって、虐待を再び再体験することであり、さらには、被害を受けた児童がやがて成長するとともに加害者となっていく「暴力の連鎖」を生み出している。</p> <p>本研究は、これまで研究者が実施してきた児童養護施設における児童間暴力に関する調査を基盤に、児童間の性暴力に焦点をあて、被害児童・加害児童に適切に対応するための方策を研究者グループと児童養護施設職員が共同で開発しようとするものである。</p> <p>その手順は、以下のとおりである。</p> <p>①研究者グループが、先行研究、先駆的事例を参考にしながら、児童間性暴力に対応する基本的な考え方、必要な取り組みを示した初期型モデル（プロトタイプ）を児童養護施設に提示する。</p> <p>②各施設において、ロールプレイ・グループ討議を中心としたワークショップを実施し、職員自身が施設の危機対応システムを見直し、児童間性暴力に対応する手順を示した各施設独自の「児童間性暴力対応プロトコル（手順を示した図、チャートなど）」を策定する。</p> <p>③策定したプロトコルに基づきワークショップを実施し、プロトコルを改良する。</p> <p>④プロトコルを実践場面で活用する。</p>
選考委員からのコメント	<p>児童養護施設内における児童間性暴力の問題解決は、緊急を要する重要な研究テーマである。本研究では、多機関連携モデルの構築を目指すものであり、その研究成果に期待が持てる。</p>